

模擬試験を活用しよう！

7月8日、9日に模擬試験が行われました。1年生にとっては初めての全国模試受験になるわけですが、できたでしょうか。学年によって受験する科目も時間も異なるわけですが、「時間が長すぎて、半分以上寝てしまった。」なんていう人はいませんか。もしそんな状態ならば、それは明らかに勉強不足です。しっかり勉強をして、真剣に取り組めば、時間が足りないぐらいで普通です。特に3年生でこの時期の模試でそのような状態であれば、この夏休み相当頑張らないといけません。入試は1点で合格が分かります。わからないからといって一文字も書かないようでは点にはなりません。1点でも多く点を取るといふ心がけが必要です。

この模擬試験は全国20万人以上の学生が受験する試験です。模試を受験する意味として最も重要なことは、現段階の「**自分の学力レベルを知る**」ということです。自分が理解できていることと理解できていないことを区別して、効率よく勉強を進めていくことが大切です。3年生にとってはもっと切実に自分の志望校に合格する可能性があるかどうか判定されるわけです。

では、**模擬試験をどういうふうを活用したらよいのでしょうか。**

模擬試験の受験直後

模試を受験しただけであとは何もしないのではいけません。受験後に復習することは非常に大切です。解答を見ながら、どういう箇所間違ったのかを知り、その部分をしっかり勉強し直すことで知識が定着していくのです。合格を勝ち取った先輩たちの9割以上が、模試を受けた日から、遅くとも記憶が新鮮な1週間以内に復習しています。中には数回にわたって復習した人もいます。しっかり復習をして、できなかった問題を確実に解けるようにすることです。その積み重ねが苦手克服につながります。

結果が返ってきたら (今回の模試の結果の返却は2学期になります)

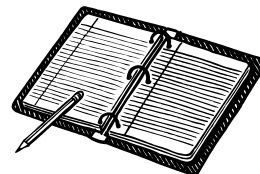
① **データを分析しましょう！**

自分がどの教科・科目、そしてどの分野が得意か、不得意かを知りましょう。自分の力を分析することは大切で、今後の勉強計画を立てる重要なヒントになります。得意教科を伸ばし、苦手科目を克服できる方法を考えましょう。そして、次の模試に向けて、目標を立てましょう。

② **志望校判定に一喜一憂しない！まずは第1志望校でC判定を目指しましょう！**

E判定を見ると、ショックを受け、もうだめだと思ってしまいがちですが、E判定でもどの位置にいるのか、あと何点とればC判定がつくのか等これもきちんと分析することが大切です。目標は3年生の秋の模試で第1志望校でC判定以上をとることです。現役生は試験前日まで伸びると言われています。最後まであきらめずに努力しましょう。

夏休みの過ごし方



《1年生へ》 1学期の復習を！

高校生になって初めての夏休みを迎えます。勉強に部活動にしっかり取り組んでください。また明日の終業式後には、高校に入学して初めての成績表をもらいます。自分の学習状況や欠席、遅刻等の生活習慣について振り返ってみましょう。時間のある夏休みにまずは1学期の総復習をしましょう。各教科から夏休みの宿題もたくさん出ていると思います。計画的に取り組みましょう。

2学期には**文理選択**が行われます。これは、進路選択の最初の段階です。自分の進みたい方向がはっきりと決められていない人は、夏休み中に、「将来どんな仕事に就きたいのか」「大学や短大、専門学校等で何を学びたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。

進路について考える一つの方法として、大学等のオープンキャンパスに参加しましょう。先日の大学見学はどうでしたか。高校とは違った雰囲気味わえたのではないのでしょうか。今度は自分の行ってみたい学校を選んで、そこで何を学べるのかを見てきましょう。9月の総合学習の時間に発表することになっています。

《2年生へ》 いろいろなことにチャレンジ！

2年生になって勉強する科目が増え、内容も難しくなってきた、授業についていけなくなっている人はいませんか。部活動でも中心となって頑張らないといけなくなり、忙しくて時間がないと悩んでいる人はいませんか。この時間のある夏休みはそれを克服するにはぴったりの時期です。しっかり復習し、また2学期に向けて準備をし、9月にはいいスタートをきれるようにしましょう。

また、夏休みは進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、いろいろと調べてみましょう。夏休みは多くの大学でオープンキャンパスが行われます。参加してみると、進路選択のヒントが得られると思います。実際に行って自分の目で見て話を聞くということは大切なことです。また、複数の学校を見て比較することも大事です。ぜひ参加してみてください。

読書感想文コンクールに応募したり、エッセーを書いてコンテストなどに参加するのもいいと思います。また漢字検定や実用英語検定の資格取得に向けて積極的に勉強しましょう。(将来的に大学入試に英検などの外部試験導入も決まっています。)いろいろなことにチャレンジしてみてください。

《3年生へ》 進路実現するために全力で勉強に取り組む夏休みです！

専門学校や短大のAO入試を考えている人は、8月から出願が始まります。出願する前に本当にその学校でいいのかも一度考えてみましょう。夏休み中に他の学校も見学して比較してみて、最終決定するのもいいと思います。

【ウラにつづく】

就職希望者は夏休み中に受験先も決定します。面接練習も始まります。夏休み中にしっかり学力をつけて、自信を持って入社試験に向かえるように、準備をしてください。

大学進学を志望している人にとっては、夏休みは思いっきり受験勉強に取り組める期間です。夏休み中の勉強の取組みが最終的に合否を分けるとも言われます。夏休みにすると良いと思われることを次にあげてみます。

- 志望校を決定する。
- 志望校の入試情報を収集する。
- オープンキャンパスに参加して、実際に志望校を見て来る。
- とにかく勉強する。得意科目を伸ばし、苦手科目を克服する努力をする。
- 補習等に積極的に参加する。
- 志望校の過去問を解いてみる。(夏休みの最後に仕上げのつもりで)

長い夏休みです。計画的に勉強しましょう。これ以上できないというぐらい勉強する経験はきっと今後にも役に立つと思います。後悔しないように、充実した夏休みを送ってください。

- * 9月1日に志望校宣言書を提出することになっています。
夏休み中に保護者ともよく話し合い、第1希望校、第2希望校を決定しておきましょう。



『こんな夏の過ごし方はダメ！』 受験雑誌『螢雪時代』8月号より

- ◆ 苦手科目を敬遠し、好きな科目の勉強だけに時間を割いて自己満足すること！
- ◆ 自分の克服すべき課題を把握しないまま、難問や過去問にむやみに手を出すこと！
- ◆ 勉強スケジュールを詰め込みすぎること、あるいは場当たりの決めること！
- ◆ 志望校のランクを下げること！（第1志望校への熱い思いが受験勉強の最大のモチベーション！）
- ◆ 計画を立てず思いつくままに勉強すること！計画性のない学習は、いくら頑張っても確信・自信につながらない！
- ◆ 気合いだけ空回りして生活リズムが崩れること！受験勉強は長丁場、コツコツやるのが一番大切！
- ◆ せっかく自分で買った問題集だからやらなきゃ損と遅くまでやって、遅寝遅起、夜型生活の毎日を送ること！
- ◆ 就寝時刻や睡眠時間が日によってバラバラ、昼まで寝ているなど不規則な生活を送ること！
- ◆ 日によって頑張ったり、そうでなかったり、手当たり次第のムラのある学習！
- ◆ 思うように成績が伸びないからと焦ったり、慌てたりして無計画に様々なものに手を出すこと！

『過去問のススメ』というリーフレットの中に英語講師の関正生先生からの受験生への応援メッセージが掲載されていました。次の通りです。

これを読んでいるみなさんも、勉強に疲れたり、ときには「受験勉強って意味あるの？」と思うことがあるかもしれません。でも受験勉強というのは、英語の文法規則であれ、数学の公式であれ、理科の法則であれ、歴史の知識であれ、すべて過去の天才たちが人生を賭けて手に入れた「世の中の真実」が結集したもので、それを“一瞬で”教えてもらえる絶好の機会なんです。こんな恵まれた機会は一生ないかもしれません。

そして、受験で扱う世界は膨大です。時代を超え、国境を越え、化学では目に見えない世界を扱い、英語や古文では、直接話をするできないような偉人の言葉を聞くことができます。こういった勉強は間違いなく「広い視野」にもつながります。ぜひ受験勉強に燃えて、志望校合格を勝ち取ってください。

勉強に疲れたり行き詰ったりした時は、『進路のしおり（資料編）』の中の「合格体験記」を再度読んでみてください。先輩たちの経験談を読むと、元気が出ると思います。みなさんの進路実現の道しるべにしてください。

進路指導室には5年分の赤本や大学発行の過去問題集を置いています。1人1冊1週間の期間で貸し出しをしています。夏休み中に解いてみようと思う人は利用してください。

